



パワーオープン ドアクローザー (空気式ドア自動開閉装置)

LCNオートイコライザー

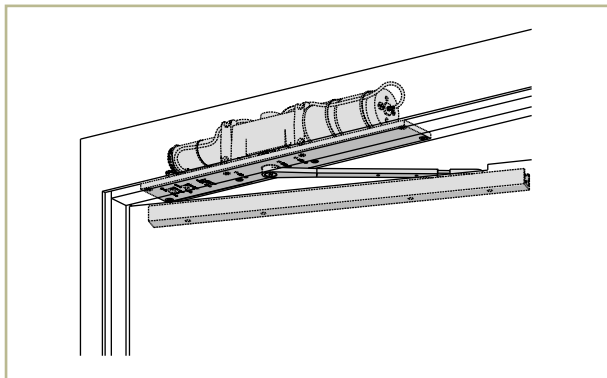
ユニバーサルデザインとして、オートイコライザーシステムは、特にお年寄り、ハンディキャップをお持ちの方、また小さな子供を対象に作られました。コンプレッサーの圧縮空気を使用して静かでスムーズ、しかも大変堅牢なドア自動開閉装置です。

一般的片開きドアに必要な装置

- オートイコライザー：1台
- 操作押しボタン、センサーなどの起動装置：
ドアの内側と外側に各1台
- コントロールボックス(コンプレッサー内蔵式)：1台
※クローザー2台までを作動可能
- エアーチューブ
- 100V AC電源コンセント

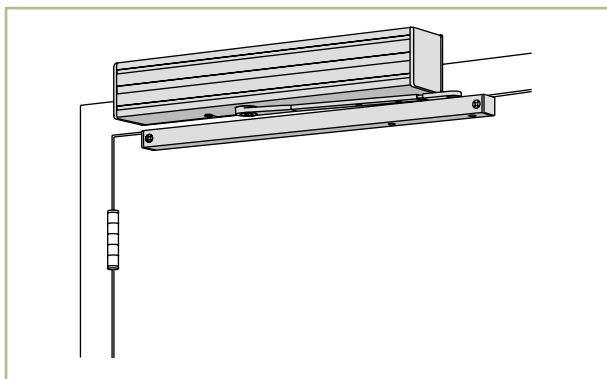
特徴(各品番共通)

- ◎オートイコライザー本体には、直列にエアタンクを内蔵
- ◎ドア開きスピードの調整が可能
- ◎開放保持時間の設定が可能(5~30秒)
- ◎バックチェッククッション90度の強さ調整が可能
- ◎ドア閉鎖スピードの調整が可能(2段階)
- ◎自動オープンは90度まで
この後手動でさらに開ける事が可能
- ◎操作押しボタン、またはモーションセンサーなどの起動装置で自動的にドアを開閉
- ◎電源OFFで通常のドアクローザーとして開閉が可能
- ◎最大ドア重量180kg



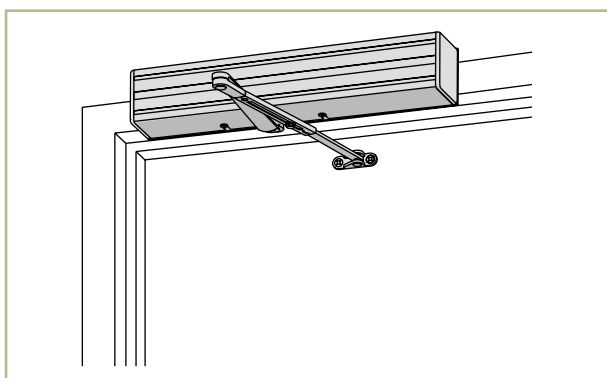
LC2610(コンシールド型)

- ◎シングルアーム+トラックレール
- ◎パウダーコート仕上げ
- ◎勝手あり(右はRH,左はLH)
- ◎ストップなし(ノンホールドオープン)
- ◎番手：2613/2614
- ◎空圧式：90度まで自動オープン(手動で160度まで開閉可能)
- ◎最大使用可能ドア幅：内部ドア 最大1200ミリ
：外部ドア 最大900ミリ



LC4811(引き側面付け型)

- ◎ヒンジ側 上枠見付取り付け
- ◎シングルアーム+トラックレール
- ◎パウダーコート仕上げ(メタルカバーはオプション)
- ◎勝手なし
- ◎閉鎖トルク調整式
- ◎ストップなし(ノンホールドオープン)
- ◎空圧式：90度まで自動オープン(手動で170度まで開閉可能)
- ◎最大使用可能ドア幅：内部ドア 最大1200ミリ
：外部ドア 最大900ミリ



LC4822(押し側面付け型)

- ◎反ヒンジ側 上枠見付取り付け
- ◎ダブルアーム
- ◎パウダーコート仕上げ(メタルカバーはオプション)
- ◎勝手なし
- ◎閉鎖トルク調整式
- ◎ストップなし(ノンホールドオープン)
- ◎空圧式：90度まで自動オープン(手動で110度まで開閉可能)
- ◎最大使用可能ドア幅：内部ドア 最大1350ミリ
：外部ドア 最大1050ミリ

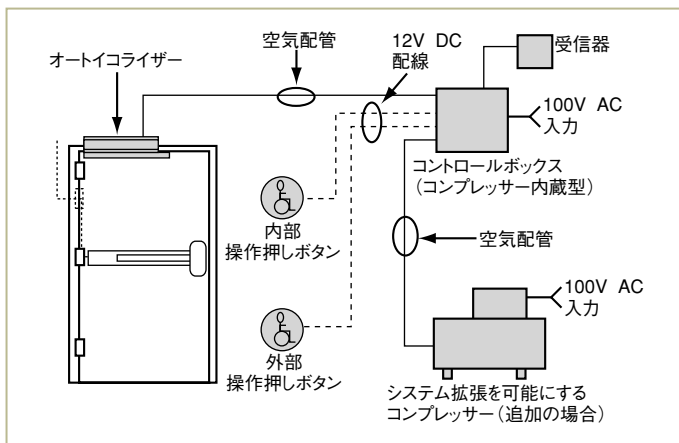
※完全後付け型(4840)もあります。

LCNオートコライザー（パワーオープンドアクローザー）システムコンポーネント

- ◎ LCNオートコライザーシステムは圧縮空気を使用し、自動的にドアを開け閉めするシステムです。
- ◎ 基本システムは、ドアの開閉をコントロールするオートコライザー本体と電磁式エアバルブ、電氣的タイミング回路を内蔵するコントロールボックス、システムを起動させるスイッチの役目をする操作押しボタン等、圧縮空気を作るコンプレッサーとそれを運ぶエアチューブです。
- ◎ このシステムは空気制御のため静かに動作し、効果的で信頼性の高い方式です。フレキシブルエアチューブで、ドア枠取り付けのオートコライザー本体とコントロールボックスを繋ぎます（15メートルを限度とします）。
- ◎ ドアの開力、開閉時間の調整は大変容易です。開力は約6.5kgです。
- ◎ システムの起動は、単純な押しボタンのものからモーションセンサー、カードリーダー等の高度な装置まで使用可能です。（電気工事、配線が困難な所には、ワイヤレス方式の操作押しボタンもご用意しております）
- ◎ このシステムには、圧縮空気が必要です。1台または2台のオートコライザーは、コンプレッサー内蔵のコントロールボックスをご使用下さい。お打合せにより、現場使用のコンプレッサー内蔵コントロールボックスの製作も承ります。

基本システム

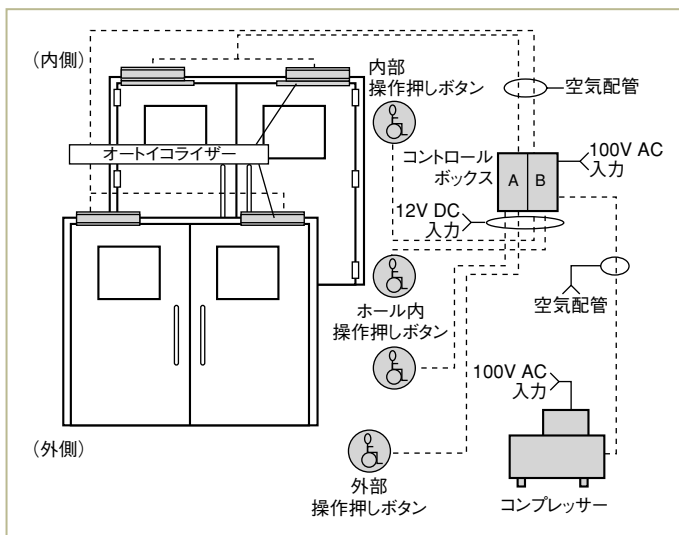
<システム例 1> 片開き 1台使用



注意：ラッチが掛かったままだとドアは開きません。ラッチ付錠をご使用の場合にはご注意ください。

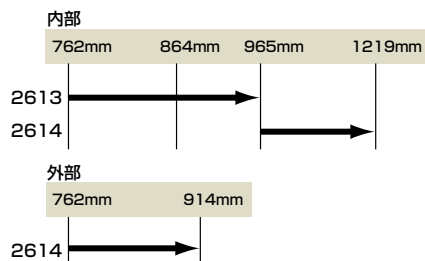
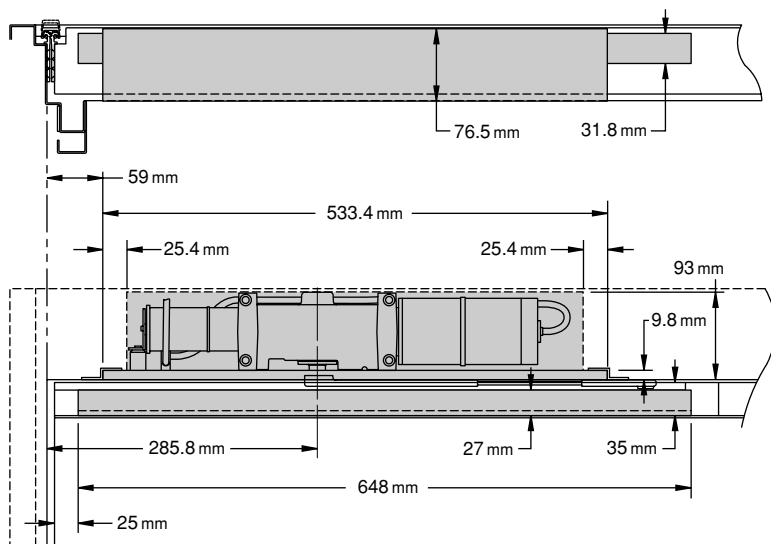
- ・ システム例1は、大型コンプレッサー導入により数台のオートコライザーを追加する事が可能です。ただし、ワイヤレスリモコン方式のオペレーションの場合は追加システムを組むことはできません。
- ・ 内外いずれかの操作押しボタン等を押すと、コントロールボックス内蔵のコンプレッサーが起動し、圧縮空気をオートコライザー本体に送り込み、ドアは90度までゆっくりと約5～7秒で開きます。重量ドアは多少多く時間が掛かります。
- ・ コントロールボックス内のタイマー（5～30秒調整式）により圧縮空気が抜け、本来のドアクローザースプリング機能により調整されたスピードでドアは閉まります。
- ・ 使用装置
 - ◎ オートコライザーLC4811：1台
 - ◎ 操作押しボタン：2台
 - ◎ コンプレッサー内蔵コントロールボックス（エアチューブ付属）：1台

<システム例 2> 両開き二重ドア 4台使用



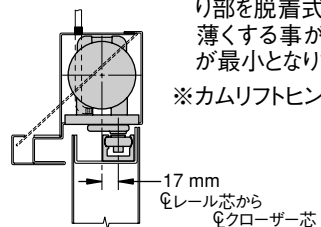
- ・ システム例2は、外側ドア（必ずしも外部に面したドアとは示しません）と内側ドアが連結して2枚組として順次に開くシステムです。
- ・ 内外いずれかの操作押しボタン等を押すとコンプレッサーが起動し、圧縮空気をオートコライザー本体に送り込み、押したボタン側の2枚のドアが開きます。次に奥のドア2枚が数秒の時間差で開きます。ドアは90度まで静かに開きます。反対側からの操作でも同じ順に作動します。
- ・ ドアの開鎖は、コントロールボックス内のタイマー（5～30秒調整式）により圧縮空気が抜け、本来のドアクローザースプリング機能により調整されたスピードで、先に開いた方のドア2枚から順次閉まります。
- ・ 使用装置
 - ◎ オートコライザーLC4822：4台
 - ◎ 操作押しボタン：4台
 - ◎ コンプレッサー内蔵コントロールボックス（エアチューブ付属）：2台

LC2610 シリーズ

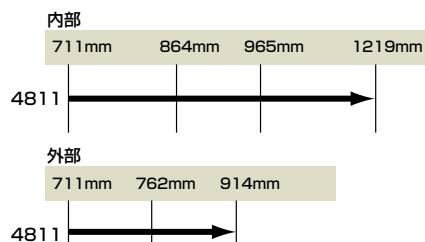
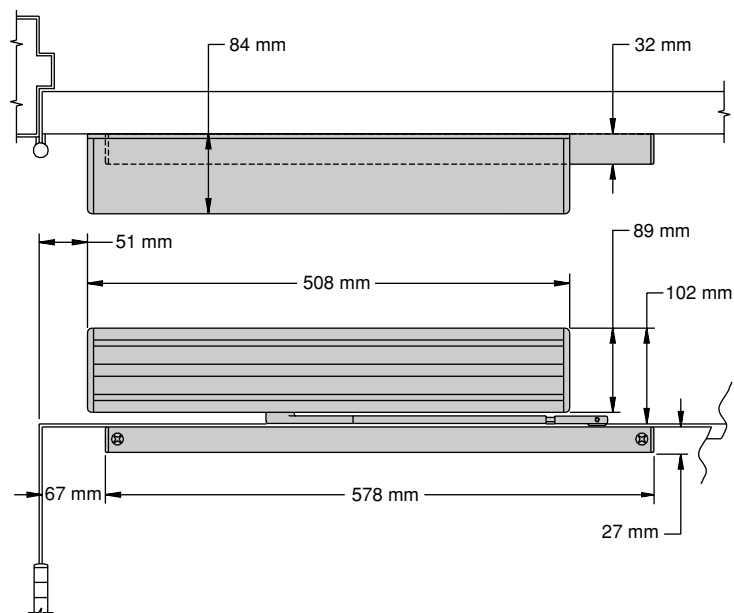


※本体幅は76ミリありますが、上部戸当り部を脱着式にする事により、ドア厚を薄くする事が可能です。ただし45ミリが最小となります。

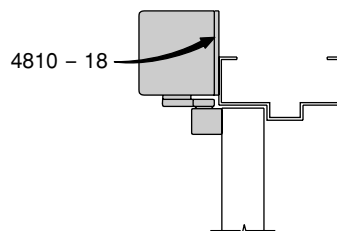
※カムリフトヒンジは使用できません。



LC4811



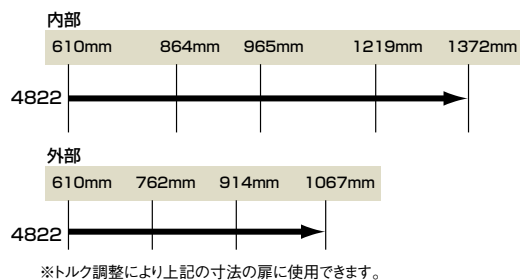
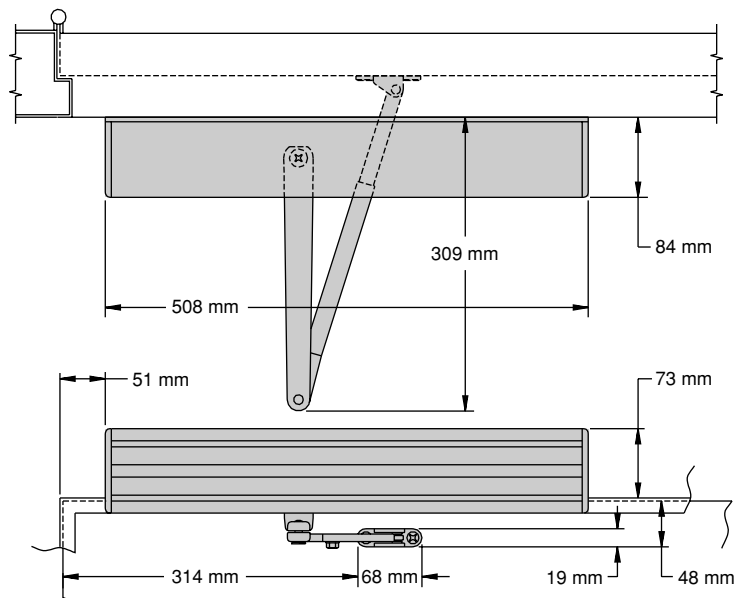
※トルク調整により上記の寸法の扉に使用できます。



※カムリフトヒンジは使用できません。

※上枠見付は50ミリとして下さい。

LC4822



※トルク調整により上記の寸法の扉に使用できます。

※上枠見付は50ミリとして下さい。

